

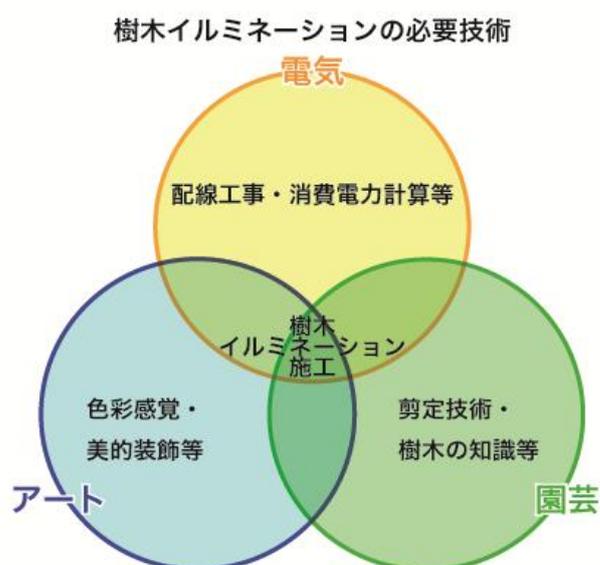
樹木へのイルミネーション施工に必要な技術・知識

イルミネーションの施工でもっとも代表的なものが樹木への施工です。

ではこの樹木へのイルミネーション施工において、必要な技能とは何でしょう。また、当社と素人の施工とは、どこが違うのでしょうか。

1. 電気工事の知識と技能

まず、イルミネーションの取り付けに必要な知識はLEDイルミネーションの特性の把握と電気工事の技術です。通常のLEDストロートライト5Φ100球タイプで、消費電力は5W~7Wです。メーカーによって何本まで同一電源から連結できるかは違ってきますので、把握しておく必要があります。現場での電源の容量が何Wで、今現在何W使っていて何W残っているか。また電源からの結線、タイマーやウォールボックスの設置など電気工事技師の資格や技術が必要な作業もあります。



2. 園芸の知識と技能

次に必要な技能は園芸です。LEDといえども若干は発熱していますので、特に熱に弱い樹木や強い針金の巻きつけを行うことで、木を枯らしてしまう可能性があります。また、施工の方法によってできる限り、樹木のダメージが少ない取付方法を行う必要があります。代表的な樹木の名称と特性は知っておく必要があります。また施工前や最中に、無駄な枝などがあれば、剪定(せんてい)して樹形を整え、演出効果が高まるようにしたいものです。せっかく高所作業車をチャーターするのであれば、同時に樹木の剪定を行えば、トータルのコストは安くなります。当社では、有償にて、イルミネーションの施工と同時に剪定作業を行っています。

3. アート(デザインと演出)

最後に必要な技能は、アートの点です。ただ光ればよいというものではなく、より美しく見える工夫を常におきたいものです。色合い、他の樹木との関係、施工のバランス、そして少ないLED球数でもボリューム感のある付け方ができるかどうかなどが、プロとアマチュアの違いかもしれません。

これらの3点の技術と知識を持ち、美しく安全に、事故なく樹木を枯らさず施工できる点が当社の付加価値だと自負しています。